



- ▲南国市を象徴する長尾鶏の大壁画・信楽焼（しがらきやき）で畳2枚（100平方に）の面積があり市内の壁画では日本一の大きさ。1階から3階まで吹き抜いた雄大なもの。筆画は日本画家、田岡耕作氏、工事費500万円。
- ▼南国市庁舎・市のシンボルマーク「十」を形どったユニークな建物。鉄骨コンクリート造り、地下1階、地上5階。敷地面積5,485平方、床面積6,200平方、設備別完備。総事業費5億5千万円。基下の市民ホールの完成だ。

